

# 新たな時代に向けた都心のまちづくり



札幌のまちは今、かつて誰も経験した事のない人口減少・超高齢社会の到来を目前に控え、北海道開拓使設置、そして札幌オリンピックに次ぐ、三度目とも言うべき大きな転換期を迎えています。

生産年齢人口の減少に伴う経済規模縮小の見込みや、地球規模で深刻化する環境・エネルギー問題など、今後札幌が乗り越えていかなければならない課題は、数多くあります。

この難局を乗り越えていくためには、北海道と共に発展してきた札幌が、他の市町村と連携しながら、北海道の中心都市として、しっかりと役割を果たしていかなければなりません。

そのため、国内外からもっともっと、ヒト、モノ、情報などを引き付け、世界都市としての魅力を高め、それがまた、ヒト、モノ、情報などを引き付けるという好循環を形成していくこと、また、札幌の未来を担う若い世代が地元で生活していくために、安心して働いていける雇用の場を創出することなどを実現していきます。

特に、札幌の顔である都心の果たす役割は、非常に大きいものであります。

大通公園や創成川など、これまで先人たちが築いてきた札幌都心のレガシー（都市遺産）を活かしたまちづくりを進めることで、札幌はもとより、北海道をけん引していく魅力と活力に満ちた都心にしていきたいと思えます。

今回策定した「第2次都心まちづくり計画」は、新たな時代に向けた都心のまちづくりの指針となるものです。

市民の皆様や企業、行政などが、この計画をこれからの都心のまちづくりの指針として広く認識し、それぞれの役割を果たしていくことで、都心が、次代に引き継ぐことが出来るすばらしいレガシーとなることを確信しています。

最後に、本計画の策定にあたり、ご尽力いただきました都心まちづくり計画策定協議会の委員の皆様と、数多くの貴重なご意見をいただきました市民の皆様に心から御礼申し上げます。

平成 28 年（2016 年）5 月

札幌市長 秋元 克広

# 世界が憧れる札幌都心へ／ 100年の価値共創と国際競争を勝ち抜く 10原則



札幌は東北・北海道を支える拠点的な中枢都市です。日本の中枢的な政令指定都市を見渡しても、都心の創造的再生を統合的に担当する部局を持っている自治体は他に例を見ません。このような特徴ある札幌市が都心創造ビジョンとしてまとめた「都心まちづくり計画(2002)」の巻頭には、「志をもて・遠くを見よ／目標の創出と共有」、「北方圏の世界都市・札幌への道のりの協創」、そして「参加と決断の勇気」、「実現への責任」がキーワードとして掲げられています。この「都心まちづくり計画(2002)」を背景にしながら、多くの都心再生の事業が、関係の皆様のご努力とご尽力で着実に姿をあらわしてきました。

「駅前通と創成川通の整備」、「駅前通地下歩行空間と沿道の再開発計画」「北3条広場（アカブラ）」「大通交流拠点」、そして姿を現してきた「創世交流拠点」などに加え、「路面電車のループ化」などが相まって、人間を中心にした都心へと少しずつ変貌し、公共空間や共有空間のマネジメントも始まりました。

「都心まちづくり計画(2002)」を受け継ぐ、「第2次都心まちづくり計画」では、新幹線札幌延伸（2030）、札幌冬季オリンピック誘致（2026案）などへの「時間と行動計画の共創」を強く意識しながら、「市民・企業・行政が共になりながら100年の価値をつくる（Creating Shared Value）」ことを主軸に考えてきました。

そのため、今回の新しい都心まちづくり計画を取りまとめるにあたって、1)国際的に信頼される都心にする、2)札幌らしいワークスタイルとライフスタイルを楽しみ、仕事がしやすい都心にする、3)人が集まり、情報と文化の交流がしやすい都心にする、4)人々に親しみと感動を与える都心にする、ことを常に念頭に置いてきました。

同時に、5)人口減少や高齢化によって札幌を老いた都市にしない、6)枯渇する公的資金だけに頼らず、公民連携型の都市再創造事業を数多く実施しやすくする、7)大通公園や中島公園などの都心レガシー（都市遺産）の最大活用、8)新たな戦略的ターゲットエリア（都心強化先導エリアや大通公園西周辺エリア）では、環境エネルギー施策と連動した環境配慮型都心への創造的・先駆的な計画と事業の継続による世界に信頼される環境都市化戦略と21世紀型の新MICE戦略の着実な実現、を強く意識してきました。

そのため、9)グローバルな視点からの世界都心への新たなブランディング、10)「第2次都心まちづくり計画」の展開プログラムや戦略の立案とその実現を担う公民連携のプロジェクトマネジメント体制「札幌都心プラットフォームの創設」、の重要性を強く示しています。

「時間と歴史」は「今という瞬間の集合」。札幌に生きる人々が、積極的にそして真剣に「今を生かす」、「今を生きる」ことは、100年の価値共創になると信じます。また、一人ひとりの光る取組が、札幌の未来の実現に結実すると思います。

## <第2次都心まちづくり計画 本書 目次>

<b>序 都心まちづくり計画見直しの背景と計画の位置付け</b>		
1	都心まちづくり計画見直しの背景	1
2	都心まちづくり計画の位置付け	2
3	都心まちづくり計画の構成	4
<b>I 都心まちづくりの目標</b>		
1	都心まちづくりを取り巻く現状と課題	5
2	まちづくりにおいて重視すべき都心のポテンシャルと役割	6
3	都心まちづくり計画の目標	9
4	まちづくりを通じて目指す都心の姿	11
<b>II 都心の構造</b>		
1	これまでの都心まちづくりを支えてきた都心の構造	13
2	次の時代の都心まちづくりを支える骨格構造	14
3	都心まちづくりの新たなターゲット・エリア	17
<b>III 都心まちづくりの戦略</b>		
1	都心まちづくりの戦略の考え方	21
2	【戦略1】世界が注目する魅力と活力、ライフスタイルを実現するビジネス・都市観光機能の強化と成熟型都市環境の実現	23
3	【戦略2】北海道らしい豊かなみどりや地球にやさしい環境を守り育てる持続可能なまちの実現	25
4	【戦略3】市民や来街者にとって魅力的なライフスタイル・ワークスタイルを生む都市空間の形成	27
5	【戦略4】札幌の持続的・発展的成長をけん引する都心マネジメントの展開	29
<b>IV 持続的な取組を通じた都心の空間形成指針</b>		
1	都心の空間の持続的成長・強化のための取組	31
2	骨格軸形成・強化の指針	32
3	交流拠点形成・強化の指針	37
4	エリア特性に応じたまちづくりを進めるための取組	39
5	都心全域を視野に入れた空間形成指針	51
<b>V 都心まちづくりの着実な展開に向けて</b>		
1	まちづくりの実効性を高める上での取組	54
<b>参考資料</b>		
【資料1】	都心まちづくりの経緯	資_1
【資料2】	都市再生緊急整備地域・特定都市再生緊急整備地域	資_2
【資料3】	策定の仕組み	資_3
【資料4】	都心まちづくりフォーラム2016 開催概要	資_6
【資料5】	計画の公表と市民意見の募集	資_7